

# みどりとて

樹木のふしぎ／ハクウンボク  
みどり探訪／井草八幡宮  
特集／グリーンインフラ  
みどりの窓／公園紹介  
緑の歳時記／「食べられないサンショウ(山椒)」  
園芸ワンポイント／ポインセチア



ハクウンボクの花

井ノ頭通りの街路樹

## 樹木のふしぎ

# ハクウンボク(白雲木)

(エゴノキ科 エゴノキ属)

### ☆名前の由来は

白い花の満開の様子が白雲のように見えることから付きました。

### ☆どんな木ですか

日本各地の山地に自生し、高さ6〜15mほどになる落葉高木です。

樹皮は灰白色で若い枝は表皮が縦にはがれます。葉は互生し、長さ10cm〜20cmの円形で縁の上部に鋸歯があります。

### ☆どんな花と果実ですか

5〜6月頃枝先に白い花を多数付け、房状に垂れ下がります。花は約2cmで5裂し、雄しべ多数、雌しべ1個、果実は直径1.4〜1.7cmの球形で9月頃熟します。

### ☆用途は

庭木、公園樹、器具材等。材は緻密で堅く、傘のろくろ、独楽(こま)、彫刻材、薪炭材になります。種子の油から蠟燭を作ります。

※傘の開閉部分の部品

### ☆花言葉

愛の旅、壮大、朗らかな人

### ☆さあ！探しに

出かけてみませんか  
区内では井草八幡宮、郷土博物館の庭、永福町、西永福にかけての井の頭通りで街路樹として見ることができま



ハクウンボクの実